

☆ 学力向上のための取組

【国語】

<学校では>

- 自分の意見や考えを書く際、その理由やその意見や考えに至った流れを整理させ、構成を考えさせる学習の場を設定します。
- 対話活動（話し合い活動）をさらに充実させます。話し合いの目的や進め方や、自分の考えが相手に正確に伝わるような発言の仕方を意識させたり、適切な言葉遣いをさせたりするなど指導を工夫します。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことができるように指導を工夫します。
- 新出漢字を繰り返し練習するだけでなく、自分が書いた様々な文章を見直す中で、既習の漢字や同音異義語、主語・述語、修飾・被修飾語などの正しい書き方、使い方を習得できるよう指導します。

<ご家庭では>

- まずは、毎日の音読が基本です。毎日、聞いてあげましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉や漢字の意味を理解し、文節ごとに区切って、すらすらと読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく、全ての教科の学力向上に不可欠です。
- お子様との毎日の会話（対話）を楽しみましょう。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾に気を付けてははっきりと話しましょう。共感したり根拠を尋ねたり、お互いの考えを交流しましょう。
- 読書の幅を広げましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術……など様々な分野の本や新聞（記事）を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。知的好奇心を高め、心を豊かにしましょう。

【算数】

<学校では>

- 立式する際に、その意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたりします。また、式、絵や図などを用いて、具体的に分かりやすく説明できるように指導を工夫します。
- 誤答や無解答をそのままにせず、なぜ間違えたのか、どうすれば解答につながるのかをグループ学習等で説明したり、友達や教師に質問したりすることで、自分の考えを広げたり深めたりできるように指導を工夫します。
- ノートチェック、ドリル、宿題など、日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見付け、補充指導を充実させます。
- 複数の資料を関連付けながら考えさせる問題などのように、思考力・判断力・表現力を育てる文章問題等を、計画的に授業で行ったり家庭学習として課したりします。

<ご家庭では>

- お子様は今、何を学習しているのか、どのくらい理解できているのか、問題を解くのにどのくらいの時間がかかっているのかなど、宿題やテストに目を通しましょう。そして、たくさんの賞賛や励ましの言葉をかけましょう。
- 算数にもっと興味をもたせるには、「習ったことが身近に思える。」「生活の中で使えて便利だな。」などのような経験を増やすことです。お子様の今習っている、または習った学習に関連させながら、お菓子を分ける、人数分必要な数を数える、調味料の分量をはかりや升で量る、買い物で割引や合計金額、おつりなどの計算を一緒にする、家の中の図形を一緒に探してみる、物差しや巻き尺、計算機はすぐそばに置いておくなど、ご家族みんなで意識してみましょう。